

道徳のしくみ

責任者・コーディネーター	人間科学科哲学分野 遠藤 寿一 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科哲学分野		
担 当 教 員	遠藤 寿一 教授		
対 象 学 年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期 間	前期		

・学習方針（講義概要等）

古代ギリシアの哲学者ソクラテスは自らの死を目前に控え、「大切にしなければならないのは、ただ生きるということではなく、よく生きるということなのだ」と友人たち語った。しかし、「よく生きる」ためには私たちはどういうことなのか。

本講義では、功利主義・カント倫理学・社会契約説・徳の倫理[※]・正義論などの様々な倫理的立場をとりあげて、これらの理論が具体的な問題に対してどのような指針を与えることができるかを検討していく。また、そうした検討を通じて、私たちにとって「よく生きる」こととは何かを考えてもらう。

なお、功利主義・カント倫理学・正義論はビーチャムとチルドレスという二人の倫理学者が提唱した生命倫理学の四つの基本原則（自律尊重・善行・無危害・正義）の基盤となっており、またビーチャムとチルドレスは近年、生命倫理における徳倫理の重要性を強調するようになっている。そのため、講義のまとめでは、諸倫理学説と生命倫理学との関係をもとりあげる。

・教育成果（アウトカム）

複数の倫理的観点からものごとを眺め、行為の是非を多角的に分析する方法を学ぶことで、理論に基づいた自分なりの倫理観を形成することができるようになる。また、倫理理論と現実の問題を結びつけて考えることで、自分が直面する倫理的葛藤状況に対して、根拠のある行動方針を選択できるようになる。

・到達目標（SBO）

1. 「善」「悪」「尊厳」「正義」などの基本的な倫理概念に関して、功利主義、カント倫理学、徳の倫理学、正義論の主張を説明することができる。
2. 倫理諸理論についての理解を踏まえ、単なる思い込みや感情によるのではなく、理論的に自分の倫理的志向を整理し、自覚的な行動指針を立てることができる。
3. 倫理理論と現在の医療の問題および生命倫理の四原則がどのような関係にあるかを説明できる。

・講義日程

(矢) 東 101 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/14	木	1	人間科学科哲学分野	遠藤 寿一 教授	道徳理論の必要条件とは何かを考える。
4/21	木	1	人間科学科哲学分野	遠藤 寿一 教授	功利主義 (1) 行為功利主義と規則功利主義の違いを理解する。

4/28	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	功利主義 (2) 功利主義に対する批判と擁護論を検討する。
5/12	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	カント倫理学 (1) 功利主義とカント倫理学との違いを理解する。
5/19	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	カント倫理学 (2) カントの人格性の原理を検討する。
5/26	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	社会契約説 (1) ホッブズらの古典的社会契約説を理解する。
6/2	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	社会契約説 (2) 「囚人のジレンマ」を通じて、社会契約説の考え方を検討する。
6/9	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	フェミニズムとケアの倫理 (1) 「ハインツのジレンマ」を通じてコールバーグとギリガンの考えを理解する。
6/16	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	フェミニズムとケアの倫理 (2) 正義の倫理とケアの倫理の関係について考える。
6/23	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	徳の倫理 (1) アリストテレスの思想を通じて、徳の倫理を理解する。
6/30	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	徳の倫理 (2) 徳の倫理、功利主義、カント倫理学の関係について考える。
7/7	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	正義論 ロールズの『正義論』をとりあげ、公正・正義とは何かを考える。
7/14	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	目指すべき道徳理論とはどのようなものかを検討する。
7/21	木	1	人間科学科 哲学分野	遠藤 寿一 教授	まとめ

・教科書・参考書等

教：教科書

参：参考書

推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	現実をみつめる道徳哲学	ジェームズ・レイチェルズ	晃洋書房	2003
参	生命と人生の倫理	清水哲郎,伊坂青司	放送大学教育振興会	2005

・ 成績評価方法

原則として以下のように成績を評価する。
平常点 20 点（出席＋毎回の課題）＋筆記試験（80 点）＝100 点

・ 事前学修時間

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（FAITH Fortission Si35300X/DVR）	1	講義資料作成、他
講義	ノート型 PC（富士通 FMV-BIBLO LooxC/E50）	1	講義資料作成、他
講義	ノートパソコン（富士通・FMVLCE70B）	1	講義資料作成、他